

# Popoki



Newsletter No.81 2012.5.25

ronniandpopoki(at)gmail.com

<http://popoki.cruisejapan.com>

ポーポキは、春の色といえば、新緑の数々のみどりいろ。あなたは？

## Popoki's Hot News!



**ご協力、ありがとうございました！**

「ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅」(エピック 2012)はお陰様で好評です。ぜひ広めていただきたいです！

本については、<http://popoki.cruisejapan.com/monogatari.html> をご参照ください。\*神戸YMCAでも販売していますよ！



「一言の平和」コーナー

**ポーポキのお友だちのすざんかちゃんから、届いた平和：**

ある時...何か悩み・心配事がある時...急にある瞬間が訪れて...その瞬間は不思議な時間が止まったような感じがする...そのとき私は「この世界は結合した、一つの存在であり...私たちすべての生き物は見えない糸でつながっている」ということに気づかされる...

その後、いつもの生活に戻るが、私の悩み事に出口があることがわかる。

\*どんなに空が曇っていても、光がそこに存在している\*

**あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com) !**



**もうすぐ灘チャレンジ!!!! 6月3日 10:00-16:00**  
**あなたもぜひご参加ください。**



**神戸市灘区 都賀川公園 灘区民ホール隣**

<http://nadacha.info>

**スタッフ集合：9:30**

**灘区民ホール前**

**おまちしています！**

2012年5月12日(土)  
ポーポキプロジェクト at 畿央大学  
文責：西山朗(神戸大学大学院国際協力研究科修士課程1年)



2012年5月12日(土)、私たちは奈良県にある畿央大学で行われた平和学習のためのポーポキ・ワークショップに参加しました。対象者は畿央大学で「国際看護論」という科目を履修している学生で、当日は約90名の学生が参加しました。最初に先生からポーポキ・ピース・プロジェクトについての説明がなされ、その後はポーポキのピース・ブックの読み聞かせとDVD観賞を行い、最後に模造紙にポーポキと平和の絵をみんなで描きました。どのワークショップも、私たちと学生が相互にコミュニケーションをすることで様々な意見の交換をすることが出来たと思います。

私事になりますが、ポーポキ・ピース・プロジェクトに参加するのは今回が初めてであったため、ワークショップが始まってから少しの間は何をすれば良いのかわからず戸惑いました。それは今回初めて参加した他の学生達も同じだったと思います。しかしながら、わからないながらもどうすれば畿央大学の学生達と上手くコミュニケーションをとることが出来るのかを自分たちなりに模索して行動に移すことが出来たと思います。



読み聞かせ&ワークショップ風景

今回のワークショップで先生が投げかけた言葉の中で特に私が気にいった言葉があります。それは、「一見、コミュニケーションが取ることが出来ないように見える人に出会ったとしても、最後の最後まで、その人とは本当にコミュニケーションを取ることが出来ないかわかるまで、様々な方法でのコミュニケーションを取るように心がけましょう。」というよ

うな意味の言葉でした。社会には色々な集団に属する人々がいますが、コミュニケーションの不足によってお互いがお互いを十分に理解することが出来ないときがあります。ホームレスの人々の例を挙げてみましょう。私たちはつい、彼らを危険で異質な存在と見なしてしまうかもしれませんが、私たちはホームレスの人々について一体何を知っているのでしょうか。私たちのうち何人が実際にホームレスの人々がいる場所に出向き、彼らと話したことがあるのでしょうか。そうすることなしに、お互いがお互いを理解することは可能なのでしょうか。

このコミュニケーションに対する態度は、日常生活のいたるところで反映させることが出来ると思います。友達同士の会話や新しく出会う人との会話など、その時その時のコミュニケーションを十分にしようと試みることで、他者を理解し、誤解を防ぎ、「小さな平和」を積み上げていくことができるのではないのでしょうか。今回のワークショップを皮切りに、これからも人とのコミュニケーションを大事にしていきたいと思いました。

## ポーポキ人形は新しいお家を見つけました～！

suzanka

今月の東北へのポーポキの旅は友情物語活動や打ち合わせ、現地の人々との交流はもちろんですが、実はもう一つの大切なミッションがありました。それは、神戸で生まれ育てられたポーポキ人形を東北の大槌町にいらっしゃるお友達、佐々木加奈子さんに届けることでした。佐々木さんは鍼灸院の先生です。彼女は子どもたちの治療を行う際、ポーポキの本を読むことで子どもたちを励ましたり、安心させたりするのです。なので、ポーポキ人形はぜひそんな佐々木さんのお手伝いをしたいと思い、東北へと向かったのです。

その夜、大槌町に到着してから佐々木さんは私たちに会いに来てくれました。そして、そこで新パートナーのポーポキ人形と無事に「はじめまして～よろしくお願ひします」することができました～



佐々木さんはポーポキ人形とこれからずっと側にいられることをとても喜んでいましたし、ポーポキもまた新しいお家を見つけ、役に立てることを嬉しく思いました。

2人とも、これからも元気で、そして、2人の手によって多くの子どもたちの笑顔が生まれますように・・・

**\*感謝の言葉\***

今回、ポーポキ人形を丁寧に作ってくれたお友達のMarieさんに感謝

の言葉を送りたいと思います。

「Dear Marie～いつもありがとうございます！また会うのを楽しみにしています＊」



## \* ポーポキの被災地支援インタビュー その10 \*

スザンカ

今回の被災地への旅はポーポキと5人のお友達で出かけました。行き先は岩手県の、北から大槌町、釜石市、大船渡市と陸前高田市で、目標は〜〜はい。「ポーポキ友情物語活動及び打ち合わせ・被災地の人々との交流」ということでした。ゴールデンウィークの4日間(5月2日〜5月5日)という短い雨、雨な期間でしたが、多くの出会いとカラフルな出来事にあふれていました。

5月2日	
仙台駅で打ち合わせ	にじ色クレヨン 柴田滋紀代表
5月3日	
和野お茶っ子の会 参加	友情物語展示・絵描き・おしゃべり
交流会	町内会員、学生ボランティア
5月4日	
ポーポキ・メンバーで 勉強会	
AMDA・大槌・健康サポートセンター見学	元持幸子さん
神戸大学ボランティアと顔合わせ	林大造さん
5月5日	
釜石市を散歩	

では、ポーポキチームの2人のメンバー、すぐろさん、有パンにゃんに、わたくしスザンカがお聞きしましょう\*

**(スザンカ) 今回、東北は初めてでしたか？**

**(すぐろさん)** 震災前に仙台、山形には行ったことはありますが、震災後は初めてです。

**(有パンにゃん)** 僕は震災前にはないですけど、震災後はこれで4回目です。

**(ス) 被災地に近づいていったとき、どんなことを考えていましたか？**

**(有)** 去年ゴールデンウィークに行ったときは桜がとても綺麗だったので、今年も見れるかなあ…とか、反対に周りの建物は去年とどう変わっているかなあ…とか。

**(す)** 私は阪神淡路大震災の被災者だったので、そのときの気持ちを思い出すとどういう風に接したらいいのかなあ…、とか考えていました。あの時の自分は「どうせ被災者の気持ちなんてわかってもらえない」って思っていたので。

**(ス) 「被災地に着いた〜」と感じた瞬間はいつでしたか。**

**(す)** 釜石の駅ではよくわからなかったんですけど、「たっちゃん」(大槌町にある居酒屋)に着いたときに思いました。周りが真っ暗な中でそこだけ明かりが灯っていたのが印象的でした。

**(ス)** そうですよ〜。お店自体は津波で壊れたマンションの1階を改装して営業していました。周りを見ても…流されていましたね。

(有) 僕もそうですね。「たっちゃん」ではじめて被災者の方から現状を聞くことができたので…。

(ス) とても温かい心で迎えていただいて、すてきなお店でしたねえ。



(す) 周りが暗いところで、カラオケしたり騒いでいたり…、お店の中は明るかったですよね。

(有) 海鮮料理もとてもおいしかったですね。

(ス) はい。では、今回の被災地はどんな色でしたか？

(す) そうですね。雨が激しく降っていましたし、空き地が多くて…白っぽ

いグレイのイメージですが、その中で、いろんなところに植えられていたチューリップの鮮やかな色が印象的で、今もはっきりと目に浮かびます。

(有) うーん、僕は黄色かな。部屋の中の明かりの色。今回はいろんな場所で被災者の方々と交流ができたので。例えば、和野お茶っこの会(陸前高田での交流会)があった自治会館とか、途中で休憩した仮設商店街のカフェの中とか。

(す) スザンカさんは？

(ス) 私はブルーです。海と空の色ですね～被災地の町並みを見ると悲しい風景が沢山残っていますが、海と空を見ると…色々なことが変わりましたが、やっぱり今でもその素晴らしい東北だ！と新しい希望を感じましたね。それに、最後の日はきれいな青空を見せてくれましたね。



(ス) いろんな活動をしていた中で、何が一番楽しかったですか？

(有) AMDA を含むいろんなボランティアの方と話をできたことが楽しかったです。みんなそれぞれ

思いやこだわりをもっているっていうのが思ったことで。例えば、沖縄から来た方なんかは「みんな被災地の痛みをわかって言うけど、沖縄の痛みをわかっていない」なんて言っていて。震災から1年経った今でも活動をしている人たちからは熱い情熱を感じました。

(す) 私はお茶っこの会で、ポーポキの布にみんなが絵を描いてくれたときですね！描いている途中、みんなの話がとっても盛り上がり！一関のボランティアの方に絵を描いて言ったら「えっ、いいの!？」って喜んでくれて、とても丁寧に絵を描いてくれたんです。他の方も、一関のお土産で有名なごますり団子の絵とか描いてくれたりして、たくさんの方たちとお話することができました。



(ス) 皆さんに積極的に参加してもらったポガタイムもありましたし～～

ポーポキ友情物語のそういうところは本当に好きですね。布を通じて友達になりましょお～！

(ス) 今回の旅の中で印象に残った瞬間は・・・？

(有) 朝起きたとき、道に水があふれていたのを見たときです。さっきすぐろさんが言っていたように、確かにあのときはすごい雨が降っていたので、そうなっているのも当たり前だと思ったんです。でも話を聞くと、実際はそれにも震災が関わっていて。地震後、地盤が低くなり、排水路も埋まってしまったからだということです。



(す) 和野お茶っこの会でおばあちゃんと話していたときです。「仮設ではやることがないのよね」って言われたので、「みなさん縫い物とかしているみたいですね」って言ったら、「私右手がないのよ。だから、昨日ボランテ

アさんが来て教えてくれた『まけないぞう』も作れなくて…。そのおばあちゃんの右手については薄々気づいていたんですけど、そのときそこまで想像することができなかった自分がショックでした。

(ス)でも、このおばあさんに声をかけてくれて、ありがとうございました。私、実はずっと遠くから見ていたんですけど、寂しそうに座っていたので、誰か声をかけないかなあと考えていました。すぐろさんとどういのお話をされたかはわかりませんが、笑顔を見せていただいたのでうれしかったです。

(ス)いま、被災地で一番の課題は何だと思っていますか？

(す)そうですね…一年経ったのにまだまだ空き地が多い、と思いました。阪神のときは1年経つと建築ラッシュだったと思います。そういう意味でまだ復興の絵が描けていないんですよね。人手が足りていないのではないかと強く感じました。

(有)僕は被災者とボランティアの関係をこれからどうしていくか、っていうことですかね。どこまでやるのがボランティアなのか、時期が変わっていく中で今後どういう活動を一緒に取り組んでいけばいいのか、そんなことをずっと考えていました。スザンカ様は？

(ス)私が今回考えていたのは「被災者」というのは誰だろうかということ。家が流された人は当然ですけど、そうではない人たちも被災者で～、被災した地域に住む全員が被災者であり、全員に対して支援が必要です。一年経ったからこそ地域全体の復興に向かっていくことが大切だと思いました。

(ス)それでは最後に、被災地にいる方々に何かメッセージを送りましょう。

(ス+す+有)今回、私たち被災地に行って皆さんに会えて、とっても親切にさせていただき、うれしかったです。今も昔と変わらない緑の山と青い海に囲まれた素晴らしい景色の中で暮らしている皆さんにまたぜひお会いしたいと思っています。



左から:さとにゃん、ロニー、有パンにゃん、スザンカ、すぐろさん、元持さん

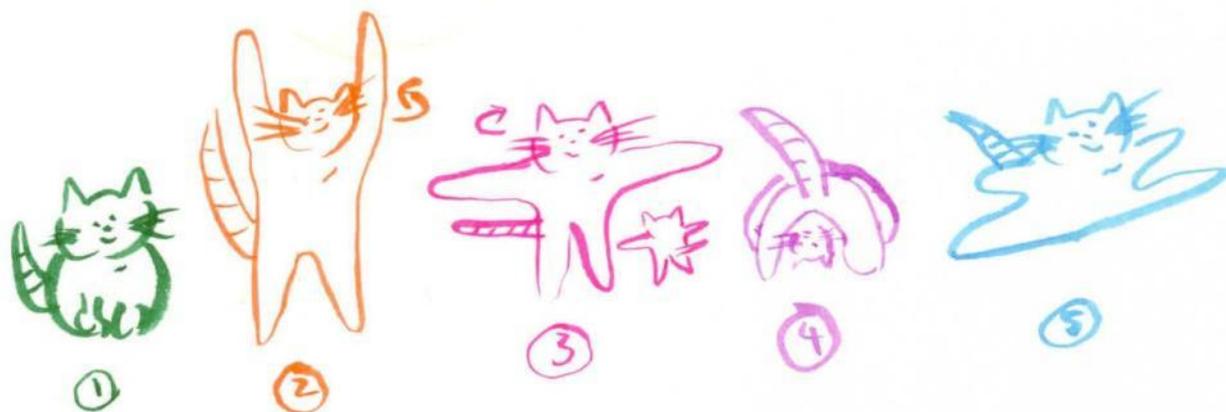
すぐろさん、有パンにゃん、ありがとうございました！



# ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

## Lesson 48

今月のポガのテーマは柔軟性と動きです。だから筆ペンで描いてみました。癒されるといいですね。



1. いつものように、背筋を伸ばし、自分を細く見せながらちゃんと座りましょう。
2. さて、手としっぽを上へのぼしながら、左へ回ろう！
3. 次に、手としっぽを横へのぼしながら、今度は右へ回ろう！
4. では、止まって、足の間から世界を見てみよう！除く時、立ちあがる時に転倒しないように、バランスを上手にとってくださいね。
5. できた！できたポーズをどうぞ！

お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

## 一緒にいかが？

次回のポー一会 6.28(木) 神戸 YMCA 306号室 19:00~20:50

- 5.26 ポーポキ at ぼちぼちの会 18:30-20:30 ロニー・アレキサンダーのワークショップ  
会場：大阪市立総合生涯学習センターの第1研修室（大阪駅前第二ビル5階）500円
- 6.3 灘チャレンジ 10:00-16:00 都賀川公園 スタッフ集合：9:30 灘区民ホールの前
- 6.9 ポーポキ at 子どもの里 10:30-12:00 大阪市西成区 集合：JR新今宮駅東口 10:00
- 7.7 HIV/AIDS イベント 終日 神戸市 JR神戸駅地下デュオこうべ
- 8.6 ヒロシマの日集会 08:00-09:00 東遊園地
- 8.6-7 「第9回多文化共生のための国際理解教育・開発教育セミナー」定員：120名。参加対象：国際理解教育・開発教育に興味のある教員または学生。会場：JICA 関西 神戸市中央区）主催：JICA 関西、他
- 10.19~ ポーポキ at Pittsburgh Children's Museum (予定)
- 11.10 「平和と健康」 兵庫医療大学

### ポーポキの友だち

- ・ 6.19 PEPUP 「拡大版・映画で学ぼう」「夕凧の街 桜の国」。神戸大学国際文化学部 M棟 201 16:50-21:00 ゲスト：ロニー・アレキサンダー。無料。どなたでも参加できます。



# ポーポキ in メディア

ポーポキ通信のバックナンバー：<http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に9条がある」NO : 66 2012年5月12日[子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21 (兵庫・29面)
- 「平和祈る声まとめ本に」 斎藤雅志 『神戸新聞』 2012.1.19 (伝える 1・17 3・11、22面)
- K. Wada. "Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?" *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. "The Art of Healing"(Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) "The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 「『ポーポキ、平和って、なに色?』の背後にあるもの」(連載) とさぼりライフ第19号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑯(パレスチナについて)『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる！」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] [http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602\\_ja](http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja)
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 'Heart Lines' 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- "Human Rights, Popoki and Bare Life." *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色? ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第2号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なに色?』」「私のいち押し」 奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて～人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第35号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なに色?ポーポキのピース・ブック2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第2弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色?」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色?」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか?」 RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ!!! プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組をクリック。番組CHの6CHをクリック。
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会 『世界人権宣言』 ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500円。詳しくは: [blrhyg@osk3.3web.ne.jp](mailto:blrhyg@osk3.3web.ne.jp)
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは?」 Kumamoto YMCA News 10 Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全30条 イラストで表現 地元ゆかり 6名がパネル制作」 2008.10.8. 10面
- 「社説 終戦の日」神戸新聞 2008. 8. 15
- 中国新聞「核廃絶への視点」 2008. 7. 27 (核抑止論について・・・。3時間!?!にわたる取材で一生懸命にポーポキのことを話したのに・・・。





# 私にとってのポーポキ



藤本瑞穂

我が家の台所は、昔は土間でした。そこは家族が集まる場所で、人も猫も犬も一緒にご飯を食べていました。猫と犬にとっては寝床でもありました。

我が家の猫「みーこ」は気ままです。ご飯時か、寝る時にしか家に帰って来ません。

でも、冬は違います。ずっと台所にいます。外が寒いからです。ある時、何かが焦げる匂いがしました。火にかけていた煮物が焦げたのだと思い、慌てて火を消して蓋を開けました。煮物は大丈夫でした。焦げていません。でも、焦げ臭い匂いはまだしています。おかしいなと思い、匂いの元を探しました。みーこが匂ってる？なぜ？みーこを抱き上げると、みーこのお腹の片側の毛が焦げていました。そういえば…、鍋の火を消す時にみーこが居たのを思い出しました。みーこの顔とみーこのお腹の焦げを交互に見て笑ってしまいました。あまりの寒さに暖かいコンロの傍で暖を取っていたのです。この焦げた匂いは、我が家の冬の風物詩になりました。

菜の花が咲く春になると、みーこはまたふらりと外へ出かけて行きました。

冬台所に立つと、みーことコンロを取り合った日々を思い出します。



さらにご協力ください！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行します。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動を続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なりたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の蘭をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、[popokipeace@gmail.com](mailto:popokipeace@gmail.com)へお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



<http://popoki.cruisejapan.com>  
[ronniandpopoki \(at\) gmail \(dot\) com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail(dot)com)